

平成30年度 事業計画 主要事項

社会福祉法人鳥取県厚生事業団

基本理念

すべての利用者の個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを基本とし、福祉サービスの質の向上を図り地域福祉の推進に貢献します。

経営方針

(福祉サービスの提供)

すべての利用者の人権と尊厳を守り、利用者主体の良質なサービスを提供します。

(地域福祉への貢献)

事業団の豊富な人材とノウハウを活かし、関係機関・団体等との連携による新しい福祉時代に対応した事業展開を目指し、地域福祉の向上に寄与します。

(情報の公開)

健全な事業経営を図り、情報の公開による透明性の高い法人経営を行い、選ばれる施設づくりを進めます。

(人材の育成)

豊かな人間性と高い専門性を備えた人材の育成を目指します。

1 主要事項

(1) 新施設の運営開始

平成29年度に建替・新築工事を行った、ふしの白寿苑(旧三津白寿苑)、皆生やまと園(旧西部やまと園)、えがお、あまつわかばホーム・あまつたけのこホームについて、平成30年4月から運営を開始します。

新しい環境により、利用者が体調等に支障をきたすことがないように職員一丸となって介護・支援を行い、新しい施設を最大限に活かして、サービスの向上に努めます。

(2) 指定管理施設

指定管理施設として受託運営を行っている鹿野かちみ園、鹿野第二かちみ園、皆生尚寿苑の3施設について、平成30年度末で現指定管理期間が満了することに伴い、鳥取県が公募による民間譲渡を検討していることから、その動向を注視し、購入(継続運営)又は撤退について検討します。

障害者体育センターについても、平成30年夏頃に次期(平成31年度～35年度)指定管理者の選考が行われることから、応募について検討します。

また、皆生尚寿苑においては、併設するかいけ訪問介護事業所について、平成30年度末で事業を廃止することとし、廃止に向けて、利用者が支障をきたすことがないように、関係機関と連携しながら他事業所への引き継ぎを行います。

(3) 巖城はごろも苑の移転新築

土砂災害警戒区域に立地しており、また、老朽化している巖城はごろも苑について、災害時

の利用者の安全確保並びに利用者の生活環境の改善を図るため、移転新築を行うこととし、建物設計を行い、平成32年春の開設に向けて、建設工事に着手します。

また、中部圏域の施設運営の拠点として、今後の事業展開等を見据えて建設予定地に隣接する土地の購入を検討するとともに、倉吉市米田町に所有している土地（元巖城はごろも苑建設予定地）の売却を行います。

（４）大規模修繕・備品更新等

利用者サービス向上のための、浴室・居室等改修（２施設）、送迎車両更新（３施設）、老朽化に伴う受水設備更新（１施設）などを行います。